

2024.11.10 sun. - 12.8 sun.

Human vs. Alien

— 前川原綾香、アニメーションの死闘 —

ヒューマン vs. エイリアン

秋田公立美術大学サテライトセンター

主催：公立大学法人秋田公立美術大学 企画制作：NPO法人アーツセンターあきた

《対面クラブ》2020

Human vs. Alien

—前川原綾香、アニメーションの死闘—

(TARZANLAND) 2018

2024.11.10 sun.-12.8 sun. OPEN 10:00-18:50

※会期中無休 入場無料

主催：公立大学法人秋田公立美術大学 企画制作：NPO法人アーツセンターあきた

秋田公立美術大学の卒業生シリーズVol.13として、ビジュアルアーツ専攻を2020年に卒業し、アニメーション作品制作を続けている前川原綾香を特集します。

油絵具を使って描き、その変化で動きを生み出していくアニメーションが持ち味。アニメーションとしてだけでなく、インスタレーションとして提示する前川原の作品は、この環境に〈抗う〉ことに主題があります。卒業制作の《TARZAN BOMB》では、閉じ込められた状況にもがくターザンのアニメーションをビニールハウスの中という密室空間にて上映。コロナ禍において制作した《対面クラブ》では、アクリル板で隔てた卓球台を挟み込むように2つのスクリーンを対面させ、ドッペルゲンガーをテーマに自己破壊とその終末に至る死闘を描きました。



前川原綾香 (まえかわら・あやか)

1997年青森県十和田市出身。2020年秋田公立美術大学ビジュアルアーツ専攻卒業。「痕跡を残さずに」生きることへの憧れと諦念から、油絵具を使用して同一の画面上に描いては消してを繰り返すアニメーションを制作する。2020年「SHOWREEL-境界を往き來するメディアアート-」(秋田公立美術大学サテライトセンター)出展。



(TARZAN SHOCK) 2019



(TARZAN BOMB) 2020



(対面クラブ) 2020



(Human vs. Alien) 2024

前川原が幼少の頃から習性としているのが、〈痕跡〉を残さずに生きること。自分の過去を自分で排除すること。自分が存在した〈痕跡〉を残さず、消除して生きることへの憧れと諦念は制作スタイルにも表れ、油絵具を使用して同一の画面上に描いては消し去る行為を繰り返します。原画／原型を残さない技法は、「自分の習性を表そうとしているのと同時に、完全に無に帰すことの不可能さを痛感する結果をもたらす」といいます。

本展では、油画をもとに制作を始めた大学3年時の作品から卒業制作、Human vs. Alienを描いた新作インスタレーションを上映・展示します。油画によるダイナミックな躍動とうねり、哲学的な思考の展開。それは、メタモルフォーゼを繰り返しながら現実に向かい、前川原綾香、死闘のアニメーションです。

アーティストトーク

「アニメーションで闘うこと」

日時：11月16日(土) 18:00～18:30

会場：秋田公立美術大学サテライトセンター

参加費無料・申し込み不要

秋田公立美術大学サテライトセンター

所在地／秋田市中通二丁目8-1 (フォンテAKITA 6階)

※車でお越しの方は、最寄りの有料駐車場をご利用ください。

お問い合わせ／秋田公立美術大学サテライトセンター (NPO法人アーツセンターあきた)

TEL 018-893-6128 FAX 018-893-6136

E-mail info@artscenter-akita.jp Web https://www.artscenter-akita.jp



秋田公立美術大学
AKITA UNIVERSITY OF ART

arts
center
akita